

令和8年度 第1回学校運営協議会

住 所 盛岡市羽場18-11-1
学 校 岩手県立盛岡工業高等学校
校 長 菅 原 基
電 話 019-638-3141

1 会議の名称

令和8年度第1回学校運営協議会

2 会議の日時

令和8年6月18日（木）10：10～10：50

3 会議の場所

盛岡工業高等学校 盛工百年館 第1研修室

4 出席者氏名

森 達 也	岩手県立産業技術短期大学校 校長
和 合 健	岩手県工業技術センター 部長
浅 沼 清 一	エスペロの会（飯岡地区地域連携組織） 会長
高 橋 信 昌	盛岡市立飯岡中学校 校長
中 里 哲 夫	同窓会 体育後援会副会長
中 村 知 泉	P T A 元 P T A 3 学年委員長
菅 原 基	校長
吉 田 亨	副校長（全日制）
岩 澤 利 治	副校長（全日制）
湊 慎 一	副校長（定時制）
粒 來 幸 次	事務長
田 鎖 充	教務主任（全日制）
稲 垣 真 紀	総務主任（全日制）
[欠席者]	
野 田 純 孝	株式会社ミクニ盛岡事業所 所長

5. 会議の次第（進行：吉田副校長）

辞令交付

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 委員紹介
- (4) 学校運営協議会の設置について
- (5) 会長、副会長の選出について
- (6) 協議（進行：森 委員）
 - ア 令和7年度学校経営計画及び教育活動計画
 - イ 本校の魅力化、特色化に係る意見交換
- (7) その他
- (8) 閉会

6 会議の概要（協議内容）

（1）辞令交付

机上への配付

（2）校長挨拶

令和8年度の学校運営についてお話ししたいと思います。まず、入学者についてですが、、全日制224名、定時制4名、合計228名でした。今年度、創立129年目となります。県内の公立高校の多くが、志願者獲得に苦勞している中、本校も例外ではございません。これまでも皆様のご協力のもと進めてきました学校の魅力化と情報発信について今後も推進していかなければならないと考えております。次に、令和10年度の学科改編、また令和12年度の校舎移転など様々な事に対応していかなければなりません。

私の方針としては、部活動等を強化していきたい、また、公立高校の強みを活かした地域への還元を学校全体で取り組んでいきたいと考えております。本日は、皆様からいただいた内容を検討し、今後について考えていければと思います。

（3）委員紹介

各委員の自己紹介

（4）学校運営協議会の設置について

資料2～5ページをもとに吉田副校長が説明

（5）会長、副会長の選出

規約により互選。事務局案（会長に森達也委員、副会長に和合健委員への依頼）を提案。異議なくお二人からの承諾をいただく。

（6）協議（進行：森会長）

ア 令和7年度学校経営計画及び教育活動計画

イ 本校の魅力化、特色化に係る意見交換

【全日制説明】

○学校経営計画について

項目1～5を教員に示し、教育活動を進めている

「2. スクールポリシー」に関しては、この度、本校のポリシーを更新した。学科ごとにポリシーを更新し、ホームページ等でも公開し、外部に発信しながら、本校の教育方針を示している。スクールポリシーのところで、本校の育成する3つのCというのを強調している。これは、チャレンジ、チェンジ、クリエイトという3つのCの獲得を目指すということで、生徒の意欲を引き出しながら、獲得を目指すという形で進めている。

「3. 魅力化協働パートナー」として学校運営協議会、同窓会、北上川流域ものづくりネットワークの方々からご意見をいただきながら魅力化推進を図っている。「4 目指す学校像」は重点目標・達成指標を掲げ取り組んでいる。「5 業務量管理・健康確保措置」昨年度から、ここが新たに付け加えられ、先生方の働き方改革といった観点で、計画に盛り込んでいる。

○令和7年度卒業生の進路状況について

進路状況は、今年度も就職がほしい70%、進学が30%といった割合で推移している。

令和7年度は国公立大学が5名、私立大学についても21名の合格者ということで、例年より少なかったのですが、全体に占める進学者の割合は高かった。

○部活動の活躍について

令和7年度については、前回の会議でも報告してきたところだが、今年度のところでは、ラグビー部が県高総体で優勝した。17年ぶりの優勝であった。その他には、県高総

体でアーチェリー部が優勝した。運動部以外では、自動車部が、エコランという、バッテリーを一つもらって、2時間でどれくらい長く走れるかという競技に参加し、秋田の大会で初めて優勝した。

○入学者数について

令和8年度は、全日制が224名、定時制が4名、合計228名の入学者数であった。昨年度よりも少し減少している。

来年度以降も、多くの生徒が、本校で、うまく成長してくれることを期待している。

【定時制説明】

○グラデュエーションポリシーについて

昨年度は卒業生が7名おり、4名が県内あるいは県外の就職。それから1名が、宮古高等技術専門校への進学、残り2名が、卒業をするのが目標というような形で推移した。入学してくる生徒たちは、多くが不登校を経験しており、自分自身の中での成長はしているが、就職や進学といった進路決定までいかない生徒がいるのが、定時制の現状であり課題だと認識している。

○カリキュラムポリシーについて

定時制の工業科は、電気、あるいは機械の基礎的な部分を学んで、資格も電気工事士やボイラー技士の資格取得を目標に頑張っている。

○アドミッションポリシーについて

入ってくる生徒に求めるものについてだが、定時制は、教員数に対して生徒数も少ないですので、先生と生徒がとても密に関わり保護者の協力を得ながら、3年間あるいは4年間かけて成長させようという雰囲気で行っている。それでもうまくいかないこともあり、私たちが試行錯誤をして、やっているという現状である。

○部活動について

部活動は陸上、卓球、バドミントンという3つある。全員所属するような形で、行われている。今年度の高校総体では、卓球部が昨年度に引き続き男子団体戦で優勝、個人戦では男子の1位から3位まで独占した。バドミントン部は、女子の個人戦で2位になり、二つの部が岩手県代表として8月に行われる全国定通大会に参加する。

○学校特有の教育活動について

さまざまな行事が企画されており、インターンシップや職場見学で職業観を養い、普段の学校生活に加えレクリエーションなどで、人間関係を構築する力を身につけるようになっている。

以上のような形で、今年度もスタートしたというような現状である。

【全日制教務部説明】

○教育課程について

令和9年度の教育過程の検討を行っている。普通教科の方に手を入れていくことを検討している。具体的には、数学と理科について、就職希望の子供たちの学力向上策と、進学希望の増加、両方に対応できるような教育過程を目指している。魅力ある学びが出来るように検討を続けていきたい。

○高校説明会について

中学校から依頼を受けて、高校の説明に行くが、ここ3年で一番多い17校から現在依頼を受けている。募集というところで厳しい状況ではあるが、保護者の方に対する、興味関心は、保たれているという風に捉えて、各学校には魅力をしっかりアピールできるように進めていきたい。

【全日制総務部説明】

○教育振興基金について

本年度、部活動に加入している生徒だけではなくて、生徒全体の様々な活動に対応する役割を果たす会計であるということを明確にする部活動奨励費から生徒特別活動費という名称に変更した。

○自転車通学について

自転車通学の生徒にヘルメット着用を求めているわけだが、事故が増加しており、PTA 加入している人が全員入っている全国高 P 連、賠償責任保険制度への問い合わせが増加している。

○PTA 活動について

5月9日にPTA総会が授業参観と同日開催で実施し、全体で326名の参加があった。昨年度に比べ70名ほど増加した。大変ありがたいと思っている。今、体育祭が行われているが、ママドリンクセッションで、盛り上がっている。はい。保護者の方々が、生徒に声かけるシーンとかもたくさんあって、大変ありがたいことだと思っている。

○熊対策について

小中学校さんと連携して、どのように学校としては、生徒を危険から守れるのかということ、それから、迎えにいらっしゃる保護者の方、教職員が危険に晒されないように、どのように生徒を安全に家に帰宅させるかと考えていかなければならない。まだまだこのノウハウが不足しており、色々な学校でどのように対応しているのかというお話を聞いていきたい。

○創立130周年について

令和10年度に迎えることになり、本格的な準備は来年度からになりますが、皆様の知恵を拝借したいと思っている。

【質疑応答】

【委員】

自転車事故について、状況などを教えてほしい。

【学校】

今年になって多くなっている。特に1年生が、自損事故や車との接触事故に遭う等、多くなっている。このような事態を受け今後、警察と連携した対応を考えている。具体的には、専門的な指導を全校生徒に行い、注意を促すことをしたい。大きな事故が起きないように対策をしていきたい。通学許可条件にはヘルメット、着用となっている。ほとんどの生徒が、購入はしていると思っているが、実際に見てみると、着用していない生徒もおり徹底はできていない状況にある。そこについても、警察と連携しながら進めていかなければならないと考えている。

【委員】

関東学院に進学している生徒がいるが、文系理系どちらですか。

【学校】

ラグビー部が入っており、文系である。スポーツで行くと、どうしても文系になる。

【委員】

エスペロの会としては、先日行っていただいたクリーン作戦がありがたい。今後ともよろしくお願ひしたい。

【委員】

近年の部活動成績の推移状況と先生方の働き改革による部活動指導への影響を教えてください。なんとなく、低迷している印象があるがどうなのか。

【学校】

ここ3年では、令和8年度が全体的には一番成績がよい。ただし、団体の目立つ競技での優勝がラグビーだけだったことが、そのような印象になっているものと思われる。働き方改革については、一つの部活動に複数の顧問を配置し、週末の休日を交代で行うなどして対応しているので、活動自体には影響していないと考える。

【委員】

遠征における、先日の白バス事故などについては大丈夫ですか。安全が第一なので。

【学校】

営業バスでの遠征を推奨しているので大丈夫。ただし、生徒負担が大きくなるように、先生方の私用車を公用車として使う場合もあるが、安全第一で許可を出している状況である。

【学校】

推薦入試がなくなり、私立高校も授業料無償化で今までは公立高校に来ていた生徒が、かなりの数、私立高校へ流出している現状もあり、部活動の成績を上げることが厳しい状況になっている。

【委員】

本日、体育祭を見学させてもらったが、挨拶を積極的にしてくれる生徒が多くいた。生徒へ、大変素晴らしい事だと伝えてほしい。質問だが、登下校時に半袖短パンで登校している様子が見られるが、学校で許可しているのか。

【学校】

学校内での軽装は認めているが、登下校時については、規定としては許可していない。ただし、暑い中での長距離移動を考えるとその方向が妥当ではないかと考える。校則検討委員会で生徒の声を聞きながら、また、地域の声も聞きながら、安心快適な生活を考えながら進めていきたい。

【委員】

学校のイメージがマイナスにならなければいいなという観点で質問した。次に、部活動についてですが、私立高校への流出など大変だと思いますが、対策として優秀な指導者がいるという事が生徒にとっては重要だと思うので、優秀な指導者を維持できる体制をお願いしたい。

【委員】

中学校での自転車ヘルメット着用について現状を話すと、保護者から「うちの子はヘルメットをかぶらない」という相談をよく受ける。これは、親御さんの世代が自転車に乗る際にヘルメットをかぶる習慣がなかったため、子供にもその意識が薄いことが原因だと考えられる。ヘルメット着用を促進するために、いくつかの対策を検討してる。例えば、啓発活動を行ったり、ヘルメット購入費の一部を補助したりするなどの方法が考えらる。また、ヘルメットをかぶることのメリットを理解することが重要。分かりやすく説明する必要がある。さらに、地域全体でヘルメット着用を推進する取り組みも重要で、例えば、地域住民がヘルメットを着用している姿を見せることで、子供たちの意識を変えることができるかもしれません。今後も、様々な対策を講じながら、ヘルメット着用率の向上に努めていきたいと考えている。

熊対策については、市教委からの連絡がある。先日も、保護者への引渡しを条件で帰宅させることもあった。高校とも連携を取りながら進めていきたい。

【委員】

盛岡工業高校の素晴らしい伝統や歴史を、保護者・生徒へ発信することが重要だと考える。質問だが、いじめアンケート3回以上とあるが、緊急事態にはすぐに対応しなければ

いけないと思うが、そのあたりはどうなっているのか。

【学校】

いじめが発生した場合には、すぐにアンケートなど随時対応している。定期的に考査終了後4回は最低でも実施しているという事である。

(7) その他

【学校】

第2回の会議は10月中旬を予定している。

(8) 閉会

7 議決事項

協議会会長	森	達	也	(岩手県立産業技術短期大学校 校長)
協議会副会長	和	合	健	(岩手県工業技術センター 部長)